

CO2 削減ポテンシャル診断と利子補給の「ワンストップ化」事業

1,065 百万円(246 百万円)

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の必要性、概要

- 実施可能なCO2削減対策は多岐にわたるが、各種の対策に係る経済性や導入可否等に基づく削減ポテンシャル(以下「削減ポテンシャル」という。)を明らかにした上で、安価な削減対策の実施を後押しし、対策の費用効率性を高めることが重要。
- 東日本大震災後の全国的な電力需給ギャップの解消と東日本の迅速な復興を実現するためには、一時的な運用改善対策や事業活動の分散・抑制による節電のみならず、省エネ設備投資による節電の推進が重要。その際、節電とCO2 排出量削減の両立に留意することも必要。
- 削減ポテンシャルの存在や講ずべき対策に係る情報、人材の不足等により実施されていない削減対策の導入ポテンシャルを明らかにし、具体的な対策を企業に提示するとともに、利子補給事業と組み合わせることで、資金調達の面でも企業に対する支援を行い、自発的な投資を促し、費用効率的な対策を普及させる。

2. 事業計画（業務内容）

- 環境省が派遣する診断機関が、排出量の大きい(例:年間排出量 3,000t-CO2 以上)企業に対して、設備の導入・運用状況等を無料で計測・診断し、投資回収年数3年未満の経済性の高い CO2 削減・節電対策技術とともに導入効果及びコスト等に関する情報を提供することにより、企業における費用効率的な対策の実施を促進する。
- 削減ポテンシャル診断により提案された対策技術に係る投資資金について、金融機関から融資を受ける際に、融資残高の1%の利子補給を行い、企業の対策実施を資金調達の面で支援する。

3. 施策の効果

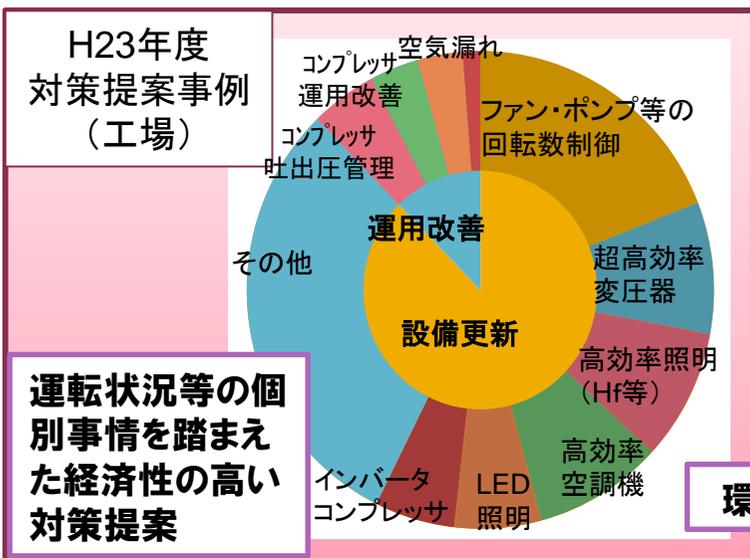
- CO2 削減ポテンシャル診断及び利子補給を通じて経済性の高い対策について企業の自発的な投資が促進され、費用効率的に大規模な CO2 削減と節電を実現する。
- 削減ポテンシャル分析を通じて、費用対効果の高い対策メニューの選定を行い、企業へ広く周知することで中長期的な対策の実施に寄与する。

平成25年度 CO2削減ポテンシャル診断と利子補給の「ワンストップ化」事業 10.7億円

ワンストップにより無料診断で効率的な対策を提案、利子補給で対策実施の資金調達を支援

- 環境省が派遣する診断機関が、排出量の大きい(例:年間排出量3,000t-CO2以上)企業に対して、設備の導入・運用状況等を無料で計測・診断し、経済性の高いCO2削減・節電対策技術とともに導入効果及びコスト等に関する情報を提供することにより、企業における費用効率的な対策の実施を促進する。
- 診断により提案された対策技術を行う際には、利子補給(1%)を行う事により、企業の効率的な対策実施を資金調達の面で支援する。

CO2削減ポテンシャル診断



ワンストップ化

診断・対策提案

融資の提案
(利子補給)

企業の
投資を支援

対策実施

環境省から専門家を派遣

利子補給事業



診断機関が事業者に対し計測を含む詳細な診断を実施し、CO2削減の対策技術の提案を行う
対象:大規模事業者(例:年間排出量3,000t-CO2以上)
規模:115件程度

CO2削減ポテンシャル診断を実施した事業者が、診断により提案された対策を行う際の設備投資に掛かる融資に対し1%の利子補給を行う
利子補給先:民間金融機関